





茨城デスティネーションキャンペーンを契機とした鉄道×金融連携による地域事業支援 JR東日本水戸支社×茨城県信用組合「地域事業支援アワード2022」贈呈を行います

東日本旅客鉄道株式会社水戸支社(以下、「IR東日本水戸支社」)と茨城県信用組合は、鉄道事業者と 金融機関の持つそれぞれの強みを掛け合わせながら、茨城県内事業者の企業価値向上を支援する「地域 活性化連携協定」を締結しています。2022年度、連携協定の取組みを通じて、販路拡大などの事業成長へ つながった事業者に対し、「地域事業支援アワード2022」贈呈を行います。

1 地域事業支援アワード2022

- ・このアワードは金融機関の取引先と鉄道会社の持つ経営資源を掛け合わせた結果に対するものです。
- ・JR東日本グループ会社と連携した商品開発、販路拡大、店舗出店などが主な選出ポイントです。
- ・茨城デスティネーションキャンペーンを契機に、新たな成功事例が生まれる仕組みづくりを目指します。

2 対象事業者

とびかんすいさん ㈱飛勘水産(日立市)



茨城県日立市を中心に、県内漁港で水揚げされた魚介類を取扱う小売・飲食業を展開。 自社の加工食品も販売している。JR東日本グループの持つ販路を活用し茨城の水産業 活性化へつながる取組みを自ら積極的に実施していただいたことおよび、DCを契機に 茨城を盛上げたいという強い想いも選出のポイント。

うちやま み そ てん 侑内山味噌店(日立市)



「醸すラスク」

茨城県内を中心に、味噌発酵食品の製造販売、麹を使用した食パン専門店などを展開。 JR東日本グループ会社と、茨城県信用組合によるマッチング商談会にて自社生食パンを 使用した「醸すラスク」が高評価を受け、今年春にJR東日本グループ会社商品として販売 開始(予定)まで至った点が選出のポイント。